やさしさいっぱい京阪電車

ご神木が見守る萱島駅

昭和42年京阪電車が高かふ〜ロ線になる時萱島神社のご神木でのり地元住みんから親しまれていたクスキをほぞんを望む声がありました。みんなの願いが通じ、駅舎をくりぬいた珍しい駅ができたのでした。

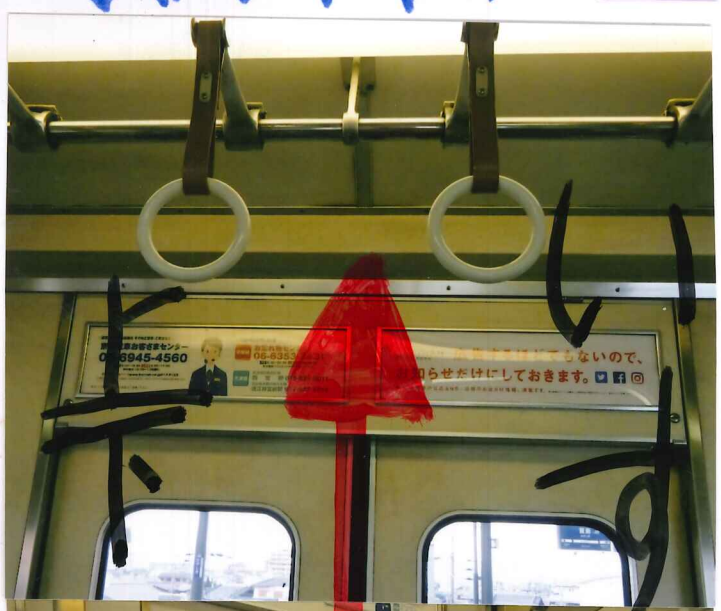
高さ約120M
しゅうい約7M
じゅきいおよそ
700年

発行日
8月27日(2018年)
発行者
阪南市立
ももの木台小学校
中島宏之伸

編集後記

電車が大好きです。ぼくは色々な種類がある京阪町に住んでいる人のことを考え電車や駅に工夫されていることを知りました。ただざん念なのが平成32年めどに京橋駅にホームドアができるよていです。そのため3扉にとうつされ5000けいは引たいが決まりました。ぼくはすごく悲しくなりました。

今回新聞を作ることで乗客やその

救世主 5000系

昭和45年高度けいざい成長のなか京阪電車の開発がすすみたく地化が急速に進行。谷線の人口が急増し混ざつ解消のために作られた車両です。一車両3扉を5扉にふやして乗りおりをスムーズにしたくさんのお客さんを乗せれるよつに考えられました。乗客の少ない昼間は3扉のみ使用し残り2つの扉の天井部に格納されている座席を下ろして使います。